



2026年5月15日

各 位

会社名 エフビー介護サービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 柳澤 美穂
コード番号：9220 東証スタンダード市場
問合せ先 取締役経営管理本部長 二之宮 修
TEL. 0267-88-8188

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期（2026年1月1日～2026年3月31日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の内容

	介護事業所名	所在地	金額
(1)	グループホームエフビー小山〔グループホーム〕	栃木県小山市	73,278千円
(2)	小規模多機能あったかほーむ下野堂 〔小規模多機能型居宅介護〕 (ケアライフ下野堂〔住宅型有料老人ホーム〕含む)	埼玉県本庄市	58,144千円
(3)	その他建物附属設備等（介護事業セグメント）		8,714千円
		合計	140,137千円

2. 減損損失計上の背景

2026年3月期第4四半期（2026年1月1日～2026年3月31日）において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれる介護事業所の建物等の固定資産について減損損失を計上いたしました。当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位である事業別かつ同一敷地内の建物及び構築物を基本単位としてグルーピングし、減損損失を計上しております。

近年の物価高騰と人件費の上昇は介護事業所の運営を圧迫しており、政府からの介護業界支援策として2025年度補正予算では介護事業者職員賃上げのための補助金制度、また臨時に2026年度介護報酬改定がありましたが、経営支援策としては不十分と言わざるを得ない状況です。

当社でも赤字幅は小さいものの、事業の採算性の観点からは厳しい介護事業所が一部存在しております。当社は減損損失を計上しましたが、介護事業者として社会のインフラである介護サービスの維持・拡大は使命であり、上記の介護事業所での介護サービスの提供を継続してまいります。その一方で今後は上場会社として各介護事業所の事業の採算性を改めて重視し、介護サービスの持続的な提供を目指してまいります。

3. 業績に与える影響

上記の特別損失につきましては、本日（2026年5月15日）公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上